

2020 年度事業計画

2020 年度の事業計画並びに予算計画は、定款第 35 条に従い 2020 年 3 月 24 日に開催の理事会におきましてご承認をいただき、4 月 1 日よりこれに基づき活動をしております。ここにご報告を申し上げます。

2019 年度は、会員拡大を柱として努力してまいりました。その結果、2020 年 4 月現在で、19 社の新規会員を獲得することができました。1 社 1 社訪問させていただき、私達の活動をご理解いただくべく面談をさせていただきました。共通して皆様から頂いた要望は、この先の見えない社会情勢の中で、日本の流通が今後どうなっていくのかのヒントを得たいというものでした。

第 37 期となります「IDR チャンネル戦略研究交流会」のテーマは、こうした趣旨に則り、《考えてみよう、日本の流通 2025》『日本経済の“節目の年 2020” から 2025 へ』—見えない時代の幕開け、日本の流通マーケティングチャンネルはどう変化していくのか—と致しました。

昨年末に中国で感染が発見された新型コロナウイルスの蔓延が世界中に広がり、日本国内においてもまさに国難ともいえるべき事態に直面している中で、実践・実証をモットーとする研究機関としての IDR の存在意義を示し、会員各社に対する情報発信を積極的に行ってまいります。

会員基盤が強化したことを最大のチャンスとしてとらえ、会員数の更なる拡大と次の事業の柱となる新しい事業もスタートしたいと考えてまいります。

2020 年度は必ず黒字化を果たします。3 月 24 日の理事会におきまして融資限度額の設定もご承認いただきましたので、効果的に借り入れも行いながら経営の安定を図ります。

1. 会員事業

- ① 新規会員 20 社獲得
- ② 総会 2020 年 5 月 25 日 (月)
- ③ 機関誌「流通問題」発刊
 - ・ 56-1 号 (2020 年 5 月末発刊)
特集「物流危機を乗り越えるロジスティクス戦略」
 - ・ 56-2 号 (2020 年 11 月末発刊)
特集「地方創生の新しい形」
- ④ IDR 通信 (Vol. 115~126)

2. 会員サービス事業

- ① IDR 研究交流会
- ② 流通問題アカデミー

3. 収益事業

- ① 調査研究事業
 - ・ 新型コロナウイルスの影響に関する緊急意識調査 (㈱プラネット等)
 - 対象国：中国 (沿岸部・内陸部 各 300ss)
 - 調査内容：新型コロナウイルス感染による
 - ・ 日常生活の変化
 - ・ 日本に対する印象 (好感度の変化)
 - ・ 渡航解除後への訪日意向
 - ・ 日本製品の購入手段の変化 など
 - ・ 調査研究受託 (㈱プラネット、㈱ジャパン・インフレックスとの共同研究)
—インバウンド消費を拡大させる意識と行動 2020

ーインバウンド消費を拡大させる意識と行動 2021

②研究会事業

- ・ 37 期 IDR チャンネル戦略研究交流会（2020 年 2 月～12 月）

テーマ：《考えてみよう、日本の流通 2025》

『日本経済の“節目の年2020”から2025へ』

一見えない時代の幕開け、日本の流通マーケティングチャンネルはどう変化していくのかー

- ・ 38 期 IDR チャンネル戦略研究交流会（2021 年 2 月～12 月）

- ・ 銘品流通研究会

- ・ IDR ワークライフ・ラボ

- ・ 業界研究会（新規）

③セミナー事業

- ・ SDGs 講座・セミナー（新規）・特別セミナー

④研修事業

- ・ 第Ⅺ期 デジタルマーケティング講座

- ・ 第 8 期 北海道地域フード塾（絶品コース/事業化コース）

- ・ 第 2 期 全米販中堅幹部ソリューション研修

⑤HCF 事業

- ・ 「第 14 回ホビークッキングフェア 2021」運営事務受託

⑥その他事業

- ・ 秋田県中食・外食用食材販路開拓事業